

組織の目標設定シート(行政経営Aシート)

組織	教職員課
職	課長
氏名	杉中 達夫

組織の使命・役割	何のために我が組織が存在するのか、我が組織が果たすべき使命・役割は何か
<p>時代や社会が激しく変化する中で、子どもたちに「生きる力」を育みながら、学校をめぐる様々な課題を解決し、保護者や時代の要請に応える活力ある学校を実現するには、教職員の情熱と努力に負うところが大きいことから、教職員の一層の意識改革と資質の向上が不可欠となっている。</p> <p>このため、教職員が様々な教育課題に積極的に取り組めるよう、長期的な視野にたつて系統的かつ継続的な研修を計画・実施するとともに、教職員一人一人の能力開発及び人材育成、適切な人事管理によって学校組織の活性化を図る。</p>	



組織の目標	使命・役割を果たす上で、我が組織が目指すゴール(成果)は何か、その目標値はどのような水準か					
(定性的目標)	何をどのような状態にしたいか					
<p>① 教育者としての使命感や責任感のもとより、教科等に関する専門的な知識・技能や指導力、豊かな人間性、確かな社会認識、問題解決能力など、真に教育の専門家としてふさわしい教養と力量をさらに向上・発展させるために必要な研修を実施する。</p> <p>② 教育センターにおいて、学習指導法の相談・助言、教材開発の支援、教育情報の収集・提供を行うカリキュラムセンター機能を強化・充実し、教員の自主的な研修を支援することにより、授業力の向上を図る。</p> <p>③ 教職員が常に意欲を持って仕事に取り組み、学校組織の一員として最大限に力が発揮されるような人事管理を推進する。</p>						
(定量的目標)	具体的な指標、目標値を設定する					
	目標とする成果指標	現行値	年(度)	目標値	年(度)	目標値の設定根拠(他県との比較など)



28年度に重点的に取り組むべき課題	左記の具体的な内容を記載する
① 指導力・授業力向上のための基本研修の実施	全教員を対象に教職経験の各段階(初任、2～3年目、6年目、11年目、21年目)で必要となる教科指導や学級経営、生徒指導等に関する研修を行う。
① 職務や業務に応じた指定研修の実施	校長、教頭、主任等のマネジメント能力や企画力を養成する研修や道徳教育推進教師研修など、課題解決力の向上を図る研修を行う。
① 課題選択研修の実施	喫緊の教育課題に対応した今日的課題研修の他、教科等指導研修や発達障害等に関する研修講座を実施し、指導力の育成を図る。
①② 校内研修サポート事業の実施	学校や教員の要望に応じて、県教育センターの指導主事が学校へ出向いて行う出前講座を実施し、校内研修の活性化を促す。
② カリキュラムセンター機能の充実	カリキュラム開発支援室(教育センター)の図書・資料等の充実、コンサルティング機能の充実を図る。
③ 人事評価の評価結果を生かした人事管理	職員の能力や勤務実績を適正に評価し、その結果を能力開発や人事配置等の処遇に反映する。